

SMTはすべての社員の雇用と人権を守り正社員として採用すべきだ！

東京営業三科がトラベルサポート事業所となり早一年が経過した。慣れない鉄道業にも関わらずSMTで働く若き社員の方々の懸命な努力により、業務運営は順調に推移している。本当にありがたく思う。

しかしその一方でSMTは、この懸命な労働力を提供する方達を「試用社員」という位置付けをしている。この扱い方に、働く者の人権は微塵も感じられない。むしろ労働者を物と見なす感覚と言える。

非常に残念なことは事業所発足以来、20名近い採用者のうち一年足らずで約半数の方々が退職を余儀なくされていることだ。単純にこの数字からはじき出すと、限りなく「ブラック」と言える状態だ？

もっと本質に踏み込めばそれは「待遇面」に他ならない。その詳細は控えるが、とにかくその要因とは「働く待遇」でしかない。働く者の人権を蔑ろにする扱いにより、結果貴重な労働力が失われているという否定的現実ということだ。限りない企業と国益の損失とも言える。

さらに、「正規社員の採用」を暗にチラつかせ日夜、小集団活動や提案・標語などを強制するならば、サービス労働の強要であり、「JRの労働組合員の連中と話しをするな！」とは、見てくれの悪いパワハラであって、企業的品位は最低ランクだ。

しかしそうは言ってもやはり悪の根源は、JR本体や関連会社の経営の根幹を揺るがしているのは、無謀な「リニア中央新幹線の建設」であることは違いない。

したがってここでは、SMT会社にはエールを送るつもりで、より良い職場環境のため企業努力求めます！私たちも労働組合として、精一杯奮闘します！労働者は使い捨てなどではありません！

SMTはすべての社員の待遇を改善し正社員の道を開け！